

2019 年度 授業概要

科目名	運動学			授業の種類	講義	講師名	必修・選択	
授業回数	30回	時間数	60時間 (4単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	後期	必修	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
理学療法では障害を持った方の動作の異常を評価、治療していく。そのためにはその動作を客観的に捉えて、言葉として記録できないと、他の専門職や一般の人たちに伝えることができない。運動学では人の動きと、その仕組みを理論的に説明する能力を身につけてもらう。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義とワークブック(臨床運動学ワークブック,辻下守弘 他,医学書院)を実施する。生理学,解剖学を復習しておくことが必須となる。また教科書は必ず持参すること。わからないことがあったらそのままにしないで,まず自分で調べ,それでもわからない場合,担当教員に質問をすること。								
〔講師の実務経験〕								
(医)マックスシール 異病院にて7年間理学療法士として勤務。急性期、回復期、訪問リハまで経験している。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
基本的な動きのメカニズムについて自分の言葉で説明できる。								
回数	講義内容							
1	運動学概論・物理学							
2	"							
3	解剖生理学・運動学基礎							
4	"							
5	脊柱							
6	"							
7	胸郭							
8	"							
9	肩甲帯・肩関節							
10	"							
11	肘関節・前腕							
12	"							
13	手関節・手指							
14	"							
15	復習							
16	"							
17	股関節							
18	"							
19	膝関節							
20	"							
21	足関節・足部							
22	"							
23	顔面							
24	"							
25	神経系							
26	"							
27	運動学習・姿勢							
28	"							
29	運動発達							
30	"							
定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
基礎運動学			中村隆一			医歯薬出版		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
筆記試験で評価する。								